

「だいち2号」観測データの干渉解析による西之島の地殻変動

火砕丘の北西側から東側にかけて溶岩の堆積等によるとみられる非干渉領域（砂目模様の場所）が見られ、海岸線に達しています。また、火砕丘の北側から東側にわたる広い範囲で、堆積した溶岩の経時変化等によるとみられる複雑な変動が見られます（図1、図2）。

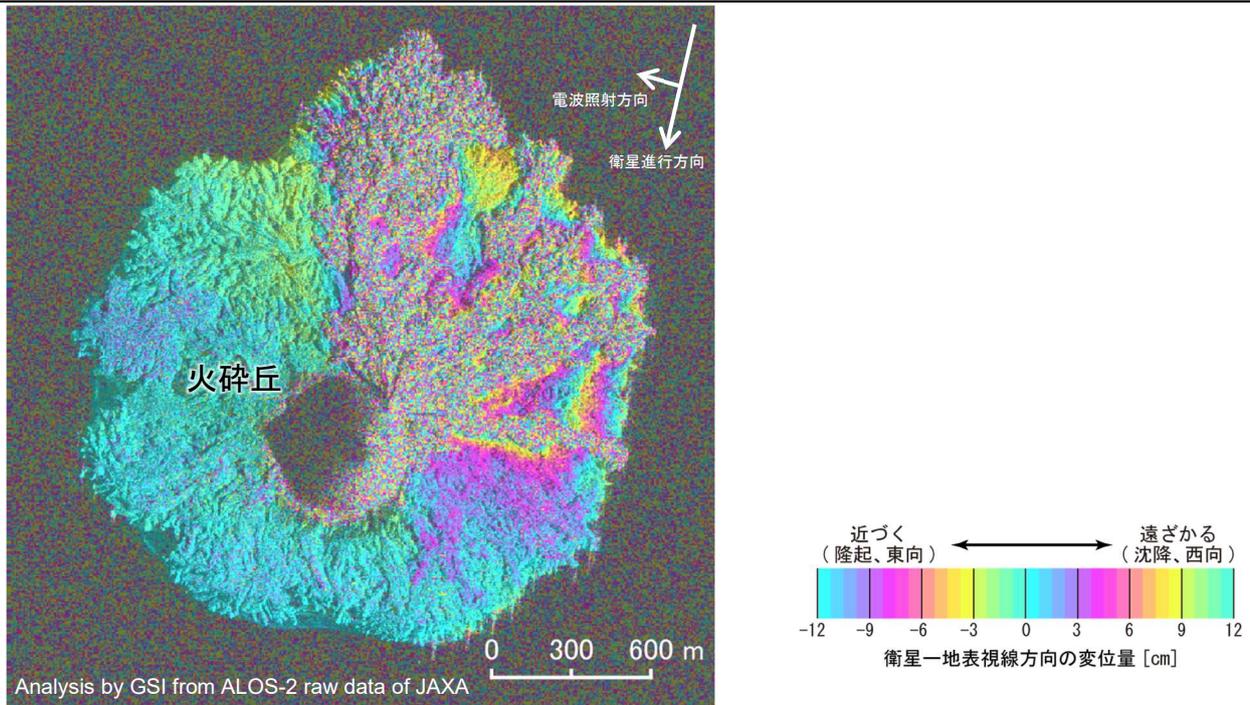


図1 SAR干渉解析結果

2020年4月24日～2020年5月8日 11:18 衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

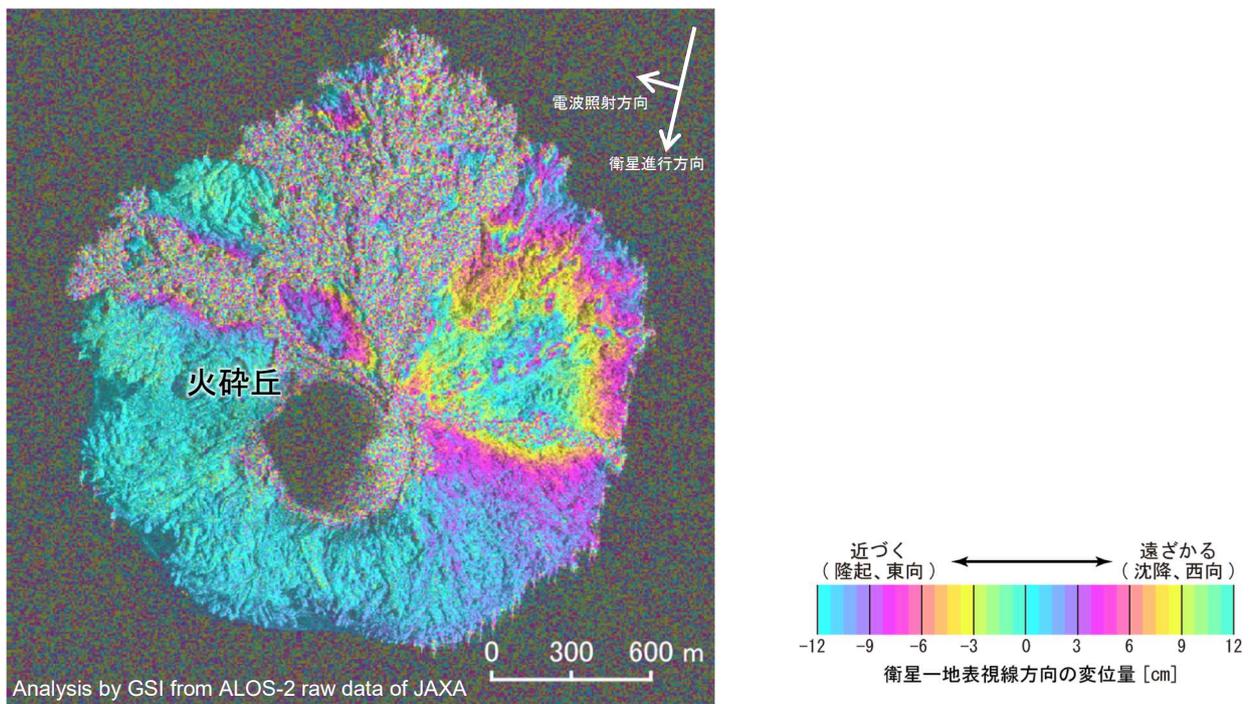


図2 SAR干渉解析結果

2020年5月8日～2020年5月22日 11:18 衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

本解析のデータの一部は、火山噴火予知連絡会衛星解析グループの活動を通して得られたものです。

国土地理院

「だいち2号」観測データの画像による西之島の地形変化

火砕丘の北西側から東側にかけて溶岩等によるとみられる地形変化が見られ（図3、図4）、海岸線に達しています（図5、図6）。

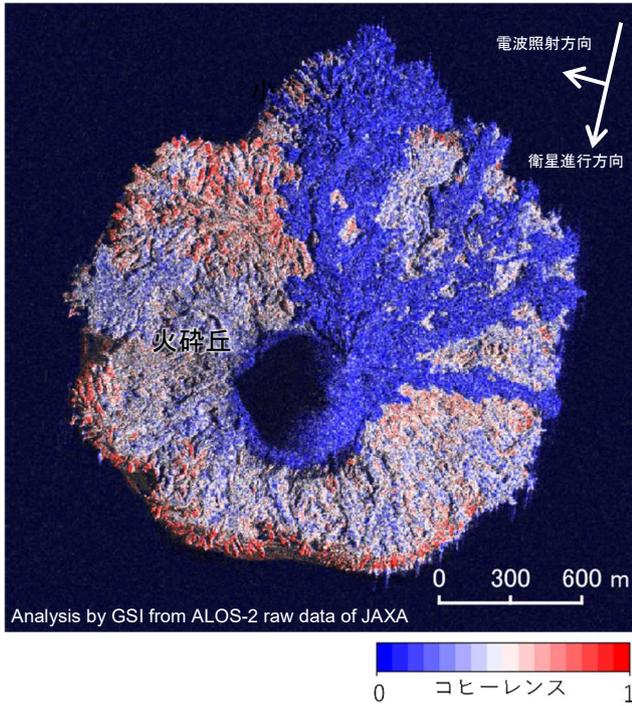


図3 干渉性の高さ（コヒーレンス）を示した図
2020年4月24日～2020年5月8日 11:18
顕著な地形変化が見られた箇所*（青色）

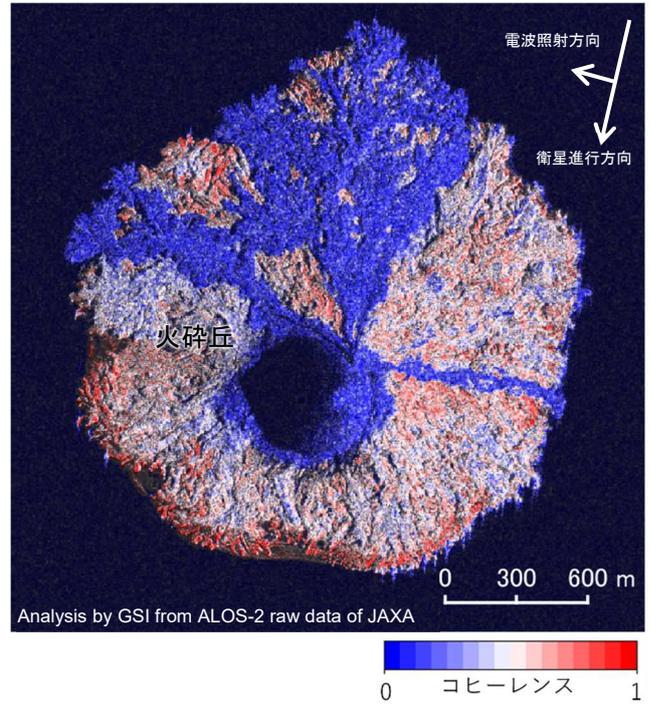


図4 干渉性の高さ（コヒーレンス）を示した図
2020年5月8日～2020年5月22日 11:18
顕著な地形変化が見られた箇所*（青色）

*コヒーレンス（干渉性）が低い箇所を青色で示す

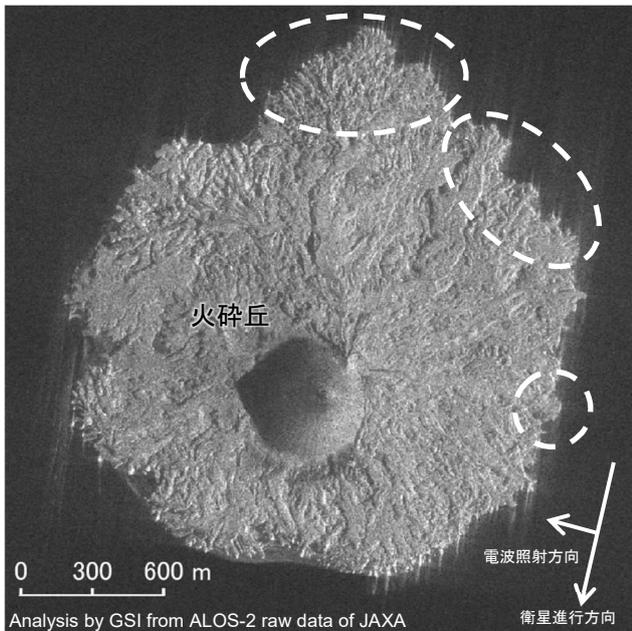


図5 SAR強度画像
2020年5月8日 11:18
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

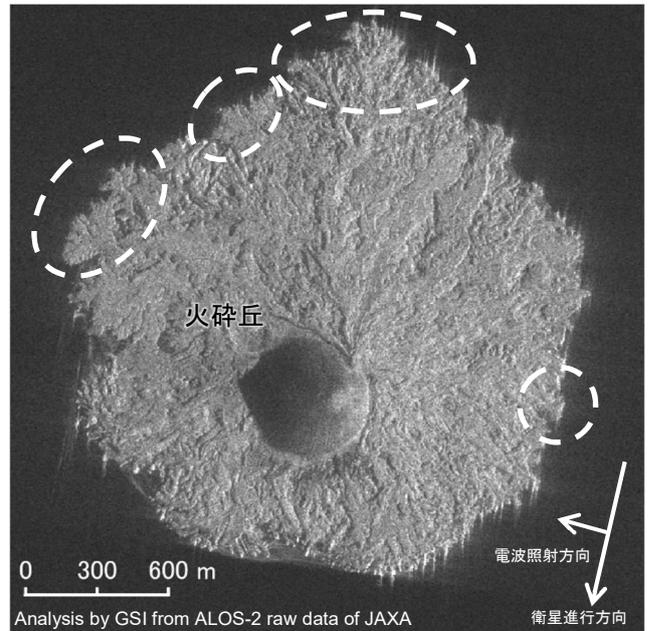


図6 SAR強度画像
2020年5月22日 11:18
衛星進行方向 南行、電波照射方向 右、入射角 58.7°

（※海岸線の変化部分は、図5、図6の白破線）